

# 子ども達が主体的に かかわる保育

街に行こう

～夢のワンダーランド～



内藤秀己（林丘幼稚園園長）  
齋藤善郎（椋山女学園大学教授）  
鈴木さつき（林丘幼稚園主任）

# 林丘幼稚園でどんなところ



## 教育目標

どの子どもも育つ  
育て方ひとつ

園児数 230名

年少組	80名	年中組	72名	年長組	78名
いちご	20人	こすもす	24人	そら	26人
めろん	20人	ひまわり	24人	にじ	26人
ばなな	20人	たんぽぽ	24人	ほし	26人



# 林丘幼稚園の目指す保育

- 楽しい保育
- ワクワクする毎日
- 子どもに寄り添い、子ども達が今、何に興味を持っているのか、何をしたいと思っているのか、そこに教師の意図をのせていく
- 保育は子どもと保育者が対話をしてできたストーリー
- 保育者は子どもが主役になれる環境を作る裏方さん



# はじめに

子どもは、生活の中で自分の興味・関心に基づいた直接的・具体的な体験を通して、学びに向かう力を育み、思考力や表現力の基礎を培っていく。日々の保育活動は、子どもが身近な環境に興味を持ち、その環境の中にある事柄に気づくことから始めたいと考えている。本編は、日々行われている園外散歩の機会に、子どもなりに興味をもって、見たり聞いたり考えたりしたことを、保育の中に取り入れて、活動を展開していく様子を記録した。



# 園外散歩から夢のワンダーランドまで

お店に  
興味を持つ

ごっこ遊び  
スタート

「これ、どう  
なってる  
の？」

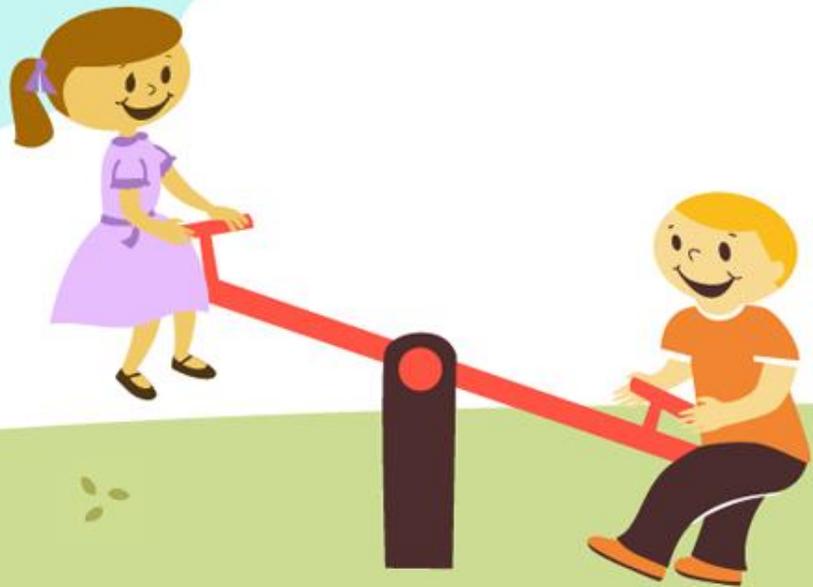
もう一度  
お店へ

製作  
ごっこ遊び  
再スタート

ゆめのワン  
ダーランド  
オープン



# ゆめのワンダーランド



# ラーメン屋さん

3歳児

食べに行ってもいい？

はいりますか？どうぞ

美味しそうだね

お箸がたくさんあるんだね



ラーメンてなにがはいつてるのかなあ？



# ラーメン屋さんから帰ると・・・

ラーメンどうだった？

麺が長かった

お肉ものってた

ちょっと白かった

じゃっじゃってやってた

めろん組さんで  
ラーメン屋さんやろうよ！



# ラーメン屋づくりが始まった

湯切がいるね

どうやって作る？

具は

ねぎ チャーシュー コーン のり

「割りばしがいるよね」  
「ざるはコップにすればいいんじゃない？」  
作っていると知った保護者が湯切を持ってきてくれた。

ストロー  
パフ  
プチプチ

子どものイメージを  
聞き材料を用意した



はい！  
みそラーメンで  
す

# ラーメンや完成！



たくさんいれますよう！



いらっしやいませ！



そっちのラーメンも  
おいしそう・・・



おいしいね

# 洋服屋さん 5歳児

あの服  
かわいいよね



先生はお金持ってないから無理だよ

先生  
買って！

スカート  
はいてみたい！



# 幼稚園に帰って

スカートを作ってあげた。

え、僕たちも  
作りたい！！

どんな服作りたい  
の？

水玉

ほし

意見は伸びなかった

種類が少ない  
ね・・・

服屋さんに  
どんな服が人気か  
聞いてみたら？



# もう一度 洋服屋さんへ



どんな服が  
人気ですか？

どんな色が  
人気ですか？

これは  
なんです  
か？

これは  
試着室だよ



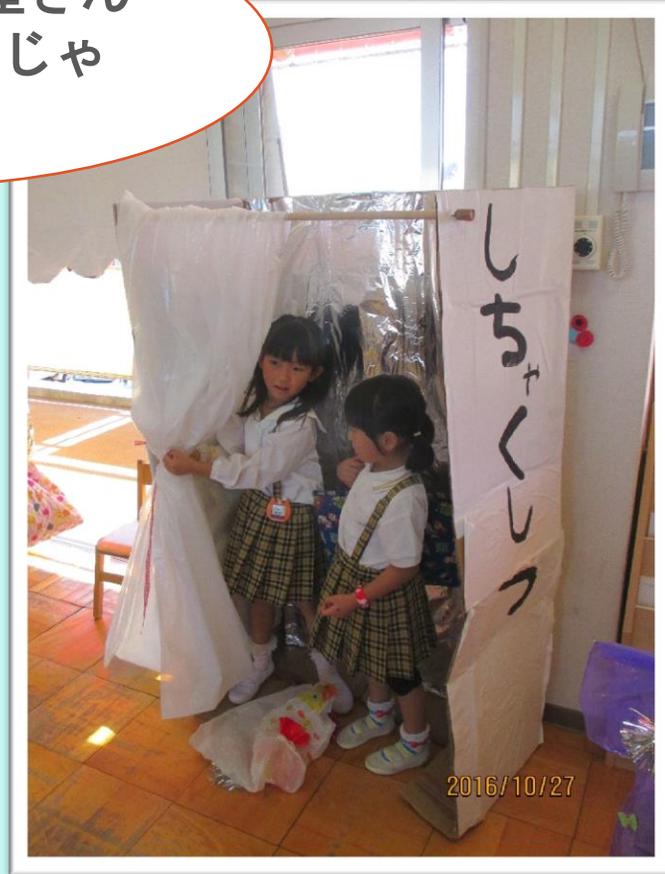
# もう一度作製開始

帽子も  
かわいかった

ブレス  
レットも  
作りたい



一杯作って服屋さん  
開いたらいいじゃ  
ん！



いよいよ .....

完成！！

マネキン  
もいるね



マネキンは使えそうな材料  
新聞紙・白い紙・棒  
を用意し、後はグループで話し合い作製していった。



# 郵便局

3歳児



ポストの中見せて  
ください



大きな袋が  
入ってるん  
だ

袋を交換する  
んだね



# ポストを作ろう！

みんなのクラスに1つずつポストつくろう。

全部で12個のポストがいるね

いちご、めろん、りんご、、、



カギもついてたから、つくらなきゃ



# 郵便局がはじまりました

お手紙とど  
けまーす



ゆうびんでーす



# 自動販売機

4歳児

どうやって  
ジュースいれる  
のかなあ？

あの中どうなっ  
てるのかなあ？

ジュース飲  
みたいなあ

みんなで自動  
販売機作れば  
いいじゃん



ジュースが落ち  
るようにしたい

お金を入れると  
ころを作りたい

ガチャガチャみた  
いにしたらどう？



# 話し合いでたくさんのことが決まった。



- 牛乳パックにトイレットペーパーの芯をつけて回せるようにする
- ジュースが落ちる所に箱をつける
- 牛乳パックを支えるように針金をつける
- ジュースの写真を張って分かりやすくする
- お金を入れるところとそれをためる箱をつける。
- ジュースを入れる牛乳パックはたくさん入れると落ちちゃうので1本ずつ入れてなくなったら補充する
- 赤い色の自動販売機にする



色塗り

ニス塗

ジュース入  
れづくり

ジュースの  
写真作り

しっかり  
テープでつ  
けよう！



# 完成！！



回る方向を  
書いた方が  
分かりやす  
いよ

いらっしやい  
ませ、ジュー  
スありますよ

オレンジ  
ジュースに  
しよう！

わあ！！  
出た！



# ハンバーグ屋さん

5歳児

これを使って、どうする？

ハンバーグ  
屋さんやり  
たいなあ

水道も  
いるね





お店の前には、  
本物みたいな置  
いてあるよ

# ハンバーグやさん完成！

ハンバーグは、  
フライパンに  
のってるよ



# お化け屋敷

5歳児



いっぱいおどろかすぞ

早くお客さん来ないかなあ～  
楽しみ



おばけだぞ～

こわがるか  
なあ～



うらめしや～



わあ！！



# 駄菓子屋さん

4歳児



はいどうぞ

これください  
さい

ここを入り  
口にしよう！



いいね  
いいね

わあ～、だが  
しやさんだ～

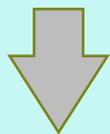


いらっしや  
いませ

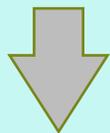
わたしも  
はいりた  
い



色々なクラスでいろいろなお店がオープン！



「名前を付けよう」



”ゆめのワンダーランド” に決定！！





# ゆめのワンダーランドを終えて思うこと

子どもに寄り添い、子どもの目線に立って、声を聴いて環境を揃える

子どもと対話しながら、思いを形にしていく

子どもが主役

子どもは気持ちよくなり、一層、声が出る

保育者は裏方さん

子どもも保育者も楽しい

夢のワンダーランド であった



# 子どもの不思議に保育者が寄り添った

「どうなってるの？」

「なにがはいってるの？」と不思議を解決するために  
自分たちの目で見て、自分たちの口で食べてみた

「・・・したい」

「・・・つくりたい」

「・・・がいるよ」

「こうすればいいじゃない？」

保育者は求めているであろう教材  
やりやすい環境を作った。

「ハンバーグがあったよ」

「おばけやしきいきたい！」

「みんなのクラスまわりたい」

「名前を付けたい」

自分たちで役割分担  
役割分担役割を果たす

次の日もまたその次の日も続いていた

- ・子どもが主役
- ・子どもの声と気持ちを形にしようと裏方になった保育者
- ・そこに見えたのは、いつも主体的に声を出し、行動する子ども達とその子ども達と対話する保育者の姿であった。



ご清聴ありがとうございました。

